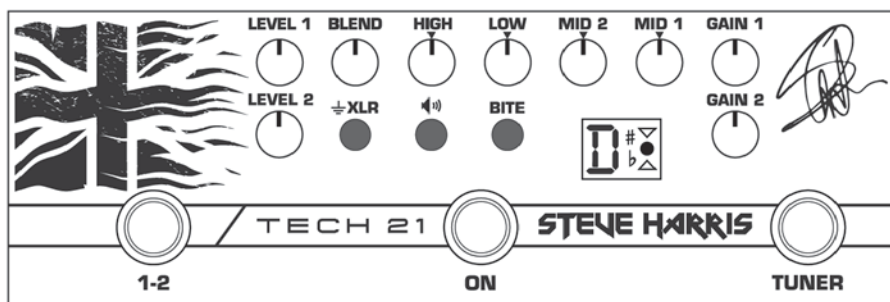


# TECH 21

**STEVE HARRIS**  
Signature SH1  
TECH 21·NYC



## USER GUIDE

### 1 はじめに

スティーブ・ハリスはアイアン・メイデンを立ち上げただけでなく、大半の作曲も手掛け、いくつかの楽器を演奏し、レコーディングをミックスし、ライブやミュージックビデオのディレクションと編集も手掛け、そしてヴォーカルもこなし、スティーブは、メインストリームロックと言えるサイド・プロジェクト、ブリティッシュ・ライオンをも手掛ける多彩なプレイヤーでソングライターでディレクターです。

スティーブの機材は、驚くべきことにほぼ 40 年変わっていません。常に彼の機材リストに乗っているのは、彼の手によって製作されたカスタム・プリアンプ、「アレクトロン」と彼の EV スピーカーを搭載したカスタムヴィンテージ・マーシャルキャビ。小さな会場の場合大量で大型な機材の移動にストレスを感じ、スティーブは Tech21 に開発を依頼しました。彼は SH1 のプロトタイプを使用したブリティッシュ・ライオンのツアー中に、

「ツアーはとてもうまくいっている。その理由の一つが、ここにある小さなブツ。信じられないブツだ！「アンドリュー・バルタ」は、本物のエキスパートだ！なぜなら、私の愛してやまない EV スピーカー音の研究を指揮したからだ！彼がやってくれたこと、全てが私の音を作り出してくれた！本当によくやってくれた、相棒！」

このコラボレーションが、ブリティッシュ・ライオンのツアー成功の始まりとなり、SH1 はアイアン・メイデン、レガシー・オブ・ザ・ビースト 2019 のライブサウンドを構成する地位を獲得しました。

### 2 使用上の注意

◆ アクティブベースで使うアクティブエレクトロニクスはより高い出力を持ち、歪ませた際に、通常より多くのノイズを生成します。軽減するには、必要に応じて本体のボリュームを下げることをお勧めします。改善しない場合は EQ 設定をフラットしたり、Gain コントロールを下げてみてください。

◆ 本機のコントロールは緻密なセッティングを可能にするため細かく設定されています。最大の効果を求める場合にも、すべてを最大に設定する必要はありません。例えばサウンドを明るくしたい時は、HI を上げるのではなく、LOW を下げてみてください。

最適な設定を見つけるには、12 時のトーンコントロールから始めて、必要に応じてカットまたはブーストします。設定はアンプや環境によって大きく異なるため、その都度ベストなサウンドを探してください。

◆ 本機のノイズレベルは非常に低く設計されていますが、入力ソースから発生するノイズを増幅する可能性があります。本機のコントロールはとても敏感ですので、高レベルの出力を出すために最大レベルの入力を必要としません。本機に入るノイズを最小限に抑えるために、エフェクターは、トーンコントロールをフラットに設定してください。もしブーストする必要があるならば、ゆっくりと控えめに設定してください。シングルコイルピックアップはノイズを生成する可能性が高くなります。しっかりとノイズ対策を行ってください。

◆ 演奏テクニックのダイナミクスとニュアンスに対する高い反応性を損なわないために通常、本体を本機に直接接続してください。

その他エフェクトを使用する際は一般的な使用法として、

本機の前：コンプレッサー、エンベロープフィルター、ワウ等

本機の後：コーラス、ディストーション（その他）、エコー、リバーブ、ボリュームペダル等をおすすめしますが、お好みに合わせて配置してください。

◆ バッファードバイパスは、「トゥルーバイパス」のポップとクリック、および複数のペダルを接続したときの高音痩せなどの欠点や、スイッチング回路や長いケーブルによる信号のロス軽減します。

### 3 接続

**プリアンプとして接続：**

本製品の出力を直接パワーアンプの INPUT(またはベースアンプの「エフェクトリターン」)に接続します。これによりアンプのプリアンプ部をスルーして本機でコントロール可能です。

**外部エフェクトとして接続：**

1/4 インチ出力をベースアンプのフロント入力(メインの入力端子)に接続します。最良の結果を得るには、アンプへの入力が過負荷にならないように、SansAmp のレベルを必ずユニティゲイン(出力レベルが本機の ON/OFF 時でほぼ同じ状態)に近づけてください。

## 3 接続

### ベースアンプとの接続：

SansAmp の出力を直接パワーアンプ入力（別名「エフェクトリターン」（該当する場合））の入力に接続します。アンプの各コントロールが無効になります。

### 注意：

本体のボリュームを 0 にしてから接続してください。

アンプをオンにし、それからゆっくりと本体の音量を上げます。

SansAmp をアンプのフロント入力に接続することもできますが、アンプの入力が過負荷にならないように、SansAmp のレベルを必ずユニティゲインに近づけてください。

### フロント入力を使用するときにアンプを設定するためのヒント：

1. 低ゲインチャンネル入力に接続します。
2. Bright スイッチをオフにします。
3. プレゼンスコントロール（該当する場合）を 12 時以下に設定します。
4. トーンコントロールをできるだけフラットに設定します。

### ダイレクトにレコーディングする：

ミキサー / レコーダーの入力に直接接続して、SansAmp のオンボードサウンドを使用することができます。ミキサー / レコーダーのようなフルレンジシステムでは幅広い周波数を録音 / 再生が可能です。SansAmp の EQ 設定を調節してベストなサウンドを見つけてください。

## 4 入力と出力



### 1/4" フォン INPUT & IN PAD スイッチ：

ピエゾのフルサウンドを実現する 4.7 メガオームのインストゥルメンタルレベル。通常の信号レベルは標準のベースギターと同程度です。（およそ -10dBm / 250mV）。

### 1/4" フォン OUTPUT：

アンバランス 1kΩ ローインピーダンスインストゥルメントレベル。この出力は、ハイインピーダンスのギターアンプ（またはエフェクト）とローインピーダンスのミキサーおよびコンピューターの入力に接続できます。ペダルがバイパスモードのとき、出力レベルはユニティゲインです。また、バイパス中も本機のバッファによりケーブルによる信号ロスを低減します。

### BALANCED XLR OUTPUT & GROUND CONNECT スイッチ ( $\frac{1}{XLR}$ )：

バランスド XLR ローインピーダンスアウトプットです。GROUND CONNECT スイッチを ON にする (  ) とグラウンドが接続されます。また、このスイッチを OFF にする (  ) と本機のグラウンドはカットされた状態になり、接続されているミキサー等のグラウンドに接続されていない状態になります。

## 5 二つのチャンネルモード

チャンネル1とチャンネル2のゲインとレベルのコントロールの範囲は同じです。特定の曲やソロ用にそれぞれをプリセットしたり、2つの異なるベースを切り替えたりすることができます（以下の「GAIN」セクションをご参照下さい）。たとえば、レベル1をクリーンブースト用設定し、ゲイン2をオーバードライブサウンド用に設定できます。

## 6 コントロール

この項の上から表記されているセクション順に信号が流れます。

### Gain1 Gain2：

入力感度、及び全体のゲイン量を調節し、チューブアンプのオーバードライブを再現します。ゲインを使用して、さまざまなピックアップの種類に対応することが可能です。たとえば、パッシブピックアップでは、ゲインを多く設定することでパンチのあるサウンドに。アクティブピックアップでは、ゲインを低く設定すればよりクリーンなサウンドに、ゲインを多く設定すれば激しいディストーションサウンドを得ることができます。

### HIGH MID2 MID1 LOW：

本機のアクティブトーンコントロールは、ユニティゲイン (12 時) から  $\pm 18\text{dB}$  カットまたはブーストします。各コントロールの中心周波数は下記の通りです。


HIGH@3kHz

MID1@200Hz

MID2@500Hz

LOW@50Hz

### BLEND：

チューブシミュレーション回路を通ったウェット信号とドライ信号のブレンド量を決定します。通常は最大 (100% SansAmp) に設定します。ただし、ピエゾピックアップを装備したアコースティック楽器などの使用の際には、アコースティックな響きを残すためにドライ信号を混ぜることでバランスを取ってください。Blend が最小の際、チューブシミュレーション回路はバイパスされますが、各コントロールはアクティブのままです。(GAIN、  )、BITE がバイパス)

### LEVEL1 LEVEL2：

各チャンネルの全体的な音量を調節します。

### BITE スイッチ：

Bite は、SansAmp チューブアンプエミュレーション回路の「スティープ」ブーストをアクティブにして、トップエンドに倍音感と明瞭さを追加します。歪んだ設定ではアタックを強化し、クリーンでは粒立ちの良さを追加します。

## 7 スピーカーシミュレーション

キャビネットを複数のマイクでマイキングした様なスムーズなサウンドを再現します。この機能で使用するキャビネットに悪影響を及ぼすことはありません。スピーカーシミュレーションはEQコントロールと連携して、全体的なサウンドをカスタマイズします。ただし、必要に応じて、スピーカースイッチ (🔊) を解除 (🔇) することで、スピーカーシミュレーションを無効にすることができます。

## 8 クロマチックチューナー



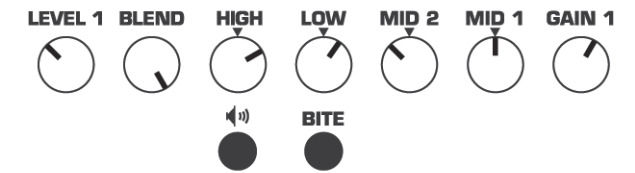
TUNER スイッチを踏み込むことでクロマチックチューナーが起動し、入力信号をミュート、チューナーウィンドウのLEDが点灯します。緑色のランプが点灯している場合は、チューニングが合っています。赤い矢印が出た場合は  
 上向き矢印 = フラットしています。ピッチを上げてください。  
 下向き矢印 = シャープしています。ピッチを下げてください。

目的の音に近づくと、矢印は速く点滅し、チューニングが合うと消えます。その後緑色のランプが点灯しチューニング完了です。

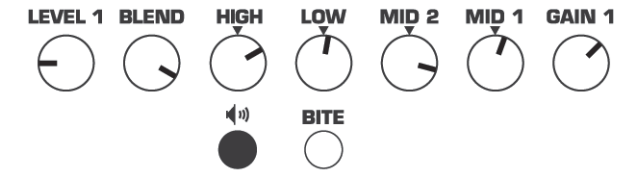
## 9 サンプルセッティング

ON (IN) ● OFF (OUT) ○

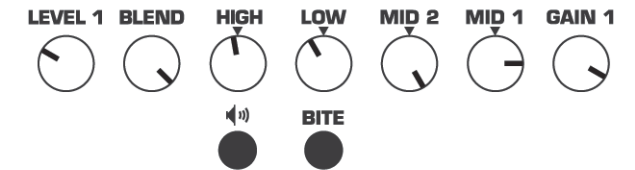
STEVE HARRIS' Personal Setting



PHIL LYNOTT / Thin Lizzy-style



LEMMY



GEEZER

